



こんにちは 東郷まさあきです

日本共産党

ご意見・ご要望をお寄せください
野洲市比江864 (☎589-4158)
2018年9月2日 No.103

8月定例
市議会

8月29日から始まりました 暮らしの要求を届けます

私の一般質問です

(9月5日~7日)

通学路での危険ブロック塀撤去に補助制度の実施を

6月の大阪北部地震では通学路の安全基準不適合のブロック塀が倒壊し亡くなる痛ましい事故が発生しました。野洲市でも通学路の民間のブロック塀で危険な場所があります。守山市・草津市・栗東市が子どもの安全へ危険ブロック塀の撤去・改修促進のため補助制度を実施しています。しかし野洲市では「個人財産には補助しない」と頑なに否定しています。市民と子どもの命と安全が優先されるべきではないでしょうか。補助の実施を求めます。



西日本豪雨災害を教訓に市内河川の管理強化を

7月の西日本豪雨災害では河川の決壊・氾濫で未曾有の被害が発生しました。豪雨被害は河川の土砂堆積や雑木繁茂の原因も。新野洲川の通水が始まって40年になりますが、土砂の堆積で大きな中州がつけられたり、3~5mにも及ぶ雑木が生えるなどしています。豪雨時、流水の障害になりかねず氾濫の危険にもなります。市内の河川でも同様のところもあり、河川管理体制の強化、土砂堆積や雑木の対策などを求めます。

相次ぐカーブミラーの倒壊。安全管理の強化を

23日の台風による強風でカーブミラーが倒壊しました。昨年の台風でも9基が倒壊しています。なかには20~30kgの重量のものもあり危険です。設置されてからかなり長い期間が立ち腐食が進んでいるカーブミラーもあります。野洲市では「点検は行っている」と言いますが十分とは言えません。定期の全基点検やカーブミラーの管理台帳整備及び番号表記、市民の通報体制を求めます。



▲腐食で倒れたとみられる(24日)

8月定例市議会は29日から開催(9月26日まで)されました。5~7日まで議案質疑と一般質問が行われます。一般質問では左記のように、地震や豪雨など全国的な災害が広がる中、安心・安全、防災のまちづくりについて質問します。ご意見を東郷正明までお寄せください。

安心・安全、防災のまちづくりを求めます

障害者雇用水増し半数超の3460人

■常識では考えられない国の障害者雇用の偽装。6865人としていた雇用者数の実際は3460人も少ない3407人でした。これにより2・49%としていた雇用率は、法定雇用率を大きく下回る1・19%に半減しました。まさに国自身が国民を欺き続けてきたもので、障害者行政への信頼を根本から覆す裏切り行為です。40年以上にわたり多くの障害者雇用の機会を奪ってきたもので問題の全体像を徹底して明らかにすることが求められています。

■野洲市では22日、山仲市長が記者会見で「障害者手帳の確認もしており“水増し”はない」と表明。野洲市の場合、障害者雇用率は市長部局が2.73%、教育委員会部局が2.67%となっています。

